

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

平成 29. 4. 24 第 193 回国会第 3 号

4 月 24 日（月）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- 岸田外務大臣、松本国務大臣（国家公安委員会委員長）、加藤国務大臣（拉致問題担当）、菫浦外務副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）預金保険機構理事長 三國谷 勝 範君

（質疑者及び主な質疑内容）

齋藤 洋明君（自民）

- 拉致被害者の救出のためには、例えば北欧の国など、地理的に距離があり、かつ、北朝鮮との独自のパイプがある第三国に関与を求める必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。
- 北朝鮮が第三国に全ての拉致被害者を引き渡し、その「見返り」として我が国から第三国に物品を寄託するという解決策について、菫浦外務副大臣の見解を伺いたい。
- 北朝鮮有事の際、我が国の拉致被害者が三十八度線を越えて韓国国内で保護を求めてきた場合において、政府ができる取組みについて確認したい。

上田 勇君（公明）

- 4 月 20 日、超党派の「北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟」が政府に対して行った、全ての拉致被害者の早期帰国実現のための提言の実行について、加藤国務大臣の見解を伺いたい。
- 北朝鮮高官が「拉致問題には誰も関心がない」と発言した一方で、人道問題としての残留日本人問題には取り組む姿勢を示した。拉致問題を含まない北朝鮮との交渉には応じるべきではないと考えるが、政府の見解を伺いたい。

松原 仁君（民進）

- 朝鮮大学校における理工科系科目の存在自体が国連安全保障理事会決議第 2270 号（平成 28 年 3 月 2 日採択）17 に抵触していると考え、政府の見解を伺いたい。
- 破たんした在日朝鮮人系信用組合から引き継いだ不良債権の回収に関し、預金保険機構は、朝鮮総連の下部組織

の資産を差し押えるために訴訟を提起すべきだと考えるが、三國谷参考人の見解を伺いたい。

- 朝鮮総連等の活動を規制するための新法を制定すべきだと考えるが、岸田外務大臣、松本国務大臣及び加藤国務大臣の見解をそれぞれ伺いたい。

鷲尾 英一郎君（民進）

- 北朝鮮有事の際における拉致被害者の救出に向けた岸田外務大臣の覚悟について伺いたい。また、北朝鮮有事として具体的にどのような事態を想定しているのか説明されたい。
- 我が国が北朝鮮からミサイル攻撃を受けた場合の国民の保護のための措置について、国民への一層の周知を図るべきではないか、また、国と地方自治体との連携はできているのか、政府の見解を伺いたい。

笠井 亮君（共産）

- 国際社会が一致して北朝鮮に対する経済制裁を厳格に実施して圧力を強めるとともに、外交交渉を通じて非核化を迫り、核・ミサイル開発を放棄させることが必要だと考えるが、岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- 米国のペンス副大統領は六者会合などの北朝鮮との対話路線は失敗だったと発言しているが、岸田外務大臣の対話路線に対する認識を伺いたい。

松浪 健太君（維新）

- 朝日友好親善協会に関する政府の認識について伺いたい。
- 外務省における北朝鮮に関する情報収集体制について岸田外務大臣の見解を伺いたい。

本ニュースは、速報性を重視した概要版として事務局において作成しているものです。
詳細な内容については会議録を御参照ください。